

1988.6.27追加

1987.11.11 いまなか

国内産野菜・米等の放射能測定結果

		放射能濃度 (Bq/kg)						
生産日	産地						備考	
		ヨウ素131	セシウム137	セシウム134	ストロンチウム103	カリウム40		
(野菜)								
ホウレン草	86/5/7	岸和田	1400	ND	ND	49	5700	洗浄前
			890	ND	ND	27	3200	水洗後
			380	ND	ND	ND	1600	ゆでた後
ワラビ	5/12	熊取	300	78	ND	46	2700	
コマツ菜	5/15	岸和田	590	130	120	320	3500	洗浄前
			490	120	59	230	1800	水洗後
			190	43	ND	120	1600	ゆでた後
シロナ	5/22	堺	130	ND	ND	ND	2500	
チンゲン菜	5/29	岸和田	27	ND	ND	ND	3200	
キャベツ	5/29		32	8.9	ND	20	2400	
ニンジン	5/29	千葉県	19	24	13	ND	2700	皮付きママ
			14	24	17	ND	2400	皮むき後
ダイコン	6/5	岸和田	23	ND	ND	ND	4100	葉
			ND	ND	ND	ND	2100	根
マミールタス	6/12	岸和田	17	9.2	ND	13	5100	
チンゲン菜	7/17	岸和田	ND	ND	ND	ND	3000	
トマト	7/19	熊取	ND	ND	ND	ND	1900	

		放射能濃度 (Bq/kg)					備考
生産日	産地	ヨ素131	セシウム137	セシウム134	ストロンチウム103	カリウム40	
ミカン	86/12/21 熊取	ND	32	12	ND	6200	葉
		ND	7.8	3.5	ND	2300	皮
		ND	4.1	0.2	ND	1600	房
ホウレン草	87/3/5 岸和田	ND	5.4	ND	ND	3500	
緑茶	87/5/17 奈良	ND	41	16	ND	16000	87/7測定
干しシイタケ	86年(?)	ND	750	130	ND	16000	87/8測定
(米)							
1985年米	七分づき 三重県	ND	ND	ND	ND	1500	
1986年米	五分づき 三重県	ND	2.4	ND	ND	1700	
1985年米	姫路	ND	0.9	ND	ND	1000	
1985年	米ぬか 姫路	ND	5.7	ND	ND	16000	
1986年米	姫路	ND	1.0	ND	ND	1200	
1986年	米ぬか 姫路	ND	8.6	ND	ND	16000	
1986年米	玄米 津山	ND	1.2	ND	ND	1900	
追加データ:							
ホウレン草	88/5/19 岸和田	ND	7.7	ND	ND	5650	
"	88/5/16 京都府	ND	9.4	3.7	ND	6170	
ミカン	87/11/15 熊取	ND	11	4.1	ND	2860	葉
		ND	3.6	ND	ND	2040	皮
		ND	ND	ND	ND	1240	房
干しシイタケ	1987年 島根	ND	1360	184	ND	18400	88/5測定
"	1988年 "	ND	727	29	ND	21200	88/5測定
パン	88/5/12 京都で購入	ND	ND	ND	ND	2030	
缶ビール	88/3製造	ND	3.2	ND	ND	286	

注釈：

1. 測定は、ゲルマニウム半導体検出器を用いた、ガンマ線エネルギースペクトル分析法による。従って、ガンマ線を出さないストロンチウム90などは検出できない。
2. NDは、検出限界以下であったことを示す。（検出限界値は、装置の性能、測定時間などによって決まる。NDであっても、その放射能がなかったとは、必ずしも言えない。）
我々のシステムの検出限界は、大ざっぱに言って1ピコキュリー程度である。
3. カリウム40は、地殻にもともと存在する天然放射能である。ヨウ素131、セシウム137、セシウム134、ルテニウム103は、天然にはない人工放射能であるが、セシウム134以外は核実験によっても生成する。
1985年産米のセシウム137は過去の核実験によるものである。
4. 半減期は、ヨウ素131で8日、ルテニウム103で40日、セシウム134で2年、セシウム137で30年、カリウム40で13億年である。
5. ベクレルとピコキュリーの関係は、
1ピコキュリー=0.037ベクレル
1ベクレル = 27ピコキュリー
である。